

石東中だより

合い言葉：石東中は未来の私の出発点

令和7年11月20日
発行者：練馬区立石神井東中学校
校長 市川 昌彦

学習活動の充実に向けて

先月末、練馬文化センターで開催した合唱コンクールには、大勢の保護者の皆様にご来場いただき、職員一同心より感謝申し上げます。

クラスが、合唱を通じ一丸となって直向きに取り組む姿を保護者の皆様にもご覧いただき、発達段階に応じた生徒たちの成長を感じていただけたのではないかと存じます。

さて、11月に入り2学期の定期考査も終わり、早いもので今学期も残り一ヶ月となりました。本校では、生徒の確かな学力の定着と学習活動の充実を目指して、「石東中ベーシックメソッド」と称し、各教科において学習の見通しと1単位時間の目当て(目標)を明確にした授業・対話的な活動のある授業・授業の振り返りを大切にした授業を共通して展開しています。こうした学習活動の振り返りとして、1学期を振り返っての生徒による授業アンケートを実施しました。今回の学校だよりでは、そのアンケート結果を掲載させていただきます。

今後も、アンケート結果を参考にそれぞれの教科において更なる「石東中ベーシックメソッド」の定着と授業改善を図っていきたいと存じます。

問い合わせ先電話番号 03-3996-2157

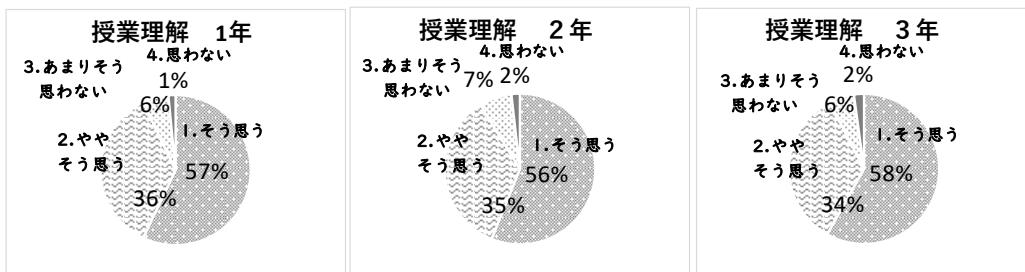
※ホームページ：<http://www.shakujii-e-j.nerima-tky.ed.jp/>



令和7年度 1学期 生徒による授業アンケート集計

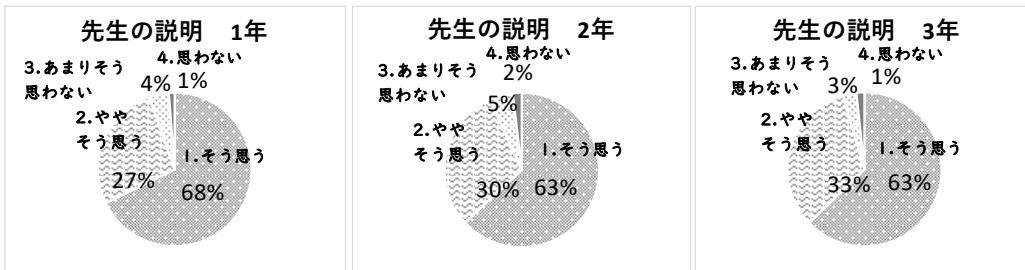
【授業理解・技能の向上】

授業を通して、内容がある程度わかるように(実技教科はできるようになってきている)なってきている。



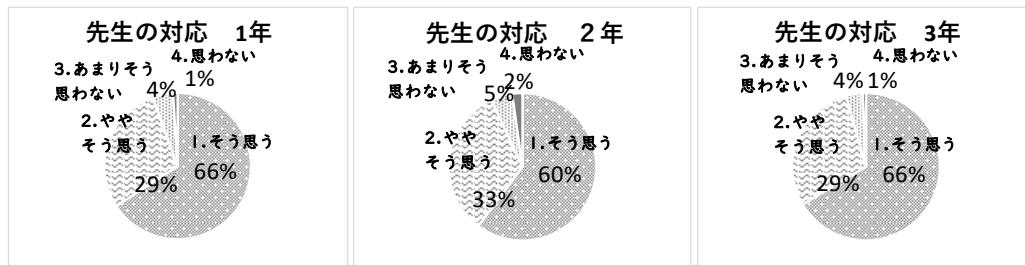
【説明に関して】

先生の説明はわかりやすい。



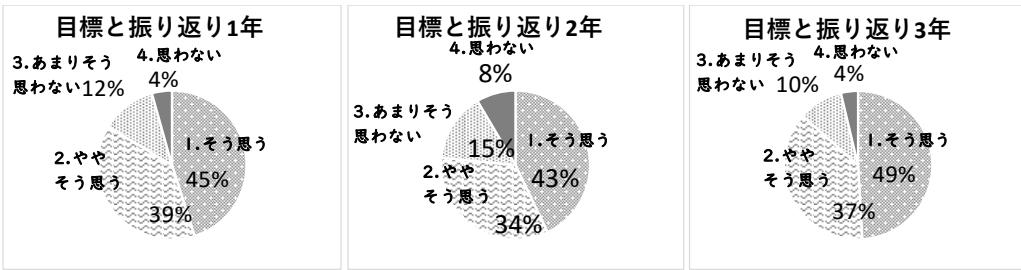
【対応】

先生は、生徒の状況などをよく理解していねいに応じてくれる。



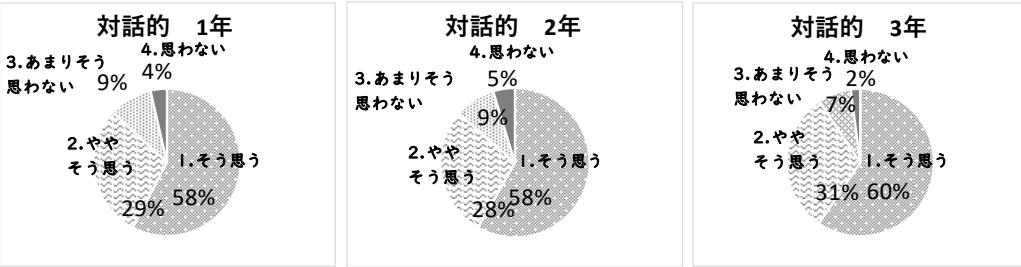
【目標と振り返り】

黒板に「本時の目標」が示され、授業の終わりに本時のまとめとして「振り返り」が行われている。



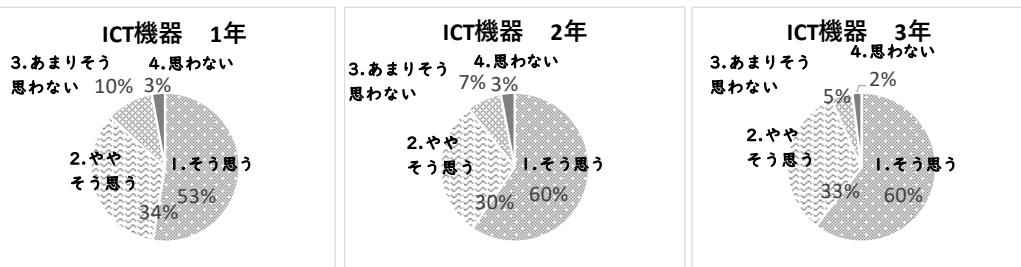
【対話的・協働的活動】

授業は、ペアやグループで協力する活動の時間がある。



【教具】

教材やICT機器などを使って、授業が工夫されている。



令和8年版「健やか運動」推進カレンダー 入賞者

1年女子 1名 2年女子 1名 2年男子 1名 3年女子 3名

令和7年度 中学生の「税についての作文」入賞者

3年男子 1名

令和7年度 薬物乱用防止ポスター・標語

【ポスター部門】〈佳作〉 3年女子「薬は外」

【標語部門】 〈会長賞〉 2年女子「薬物は一生自分を 苦しめる 勇気を出して NOの一言」

第59回 練馬区珠算コンクール・中学生の部

【個人総合競技】3等 1年女子（【種目別競技】読上算：銅賞 読上暗算：銅賞）

●令和7年度青少年育成谷原地区委員会

「標語コンクール 自分を褒めてみよう～がんばる自分へひとこと～」について

先月号にて入選のお知らせをさせていただいた、2年女子の標語作品は中学生部門にて「最優秀作品」に選ばれました。現在作品は、練馬高野台駅の交番付近の地域集会所に掲示されています。

「毎日が 夢をかなえる 通過点 頑張る自分に 応援団」

令和7年度 「税の標語」入賞者

〈練馬区長賞〉 3年女子「納税は スマホで簡単 Let's Try!」

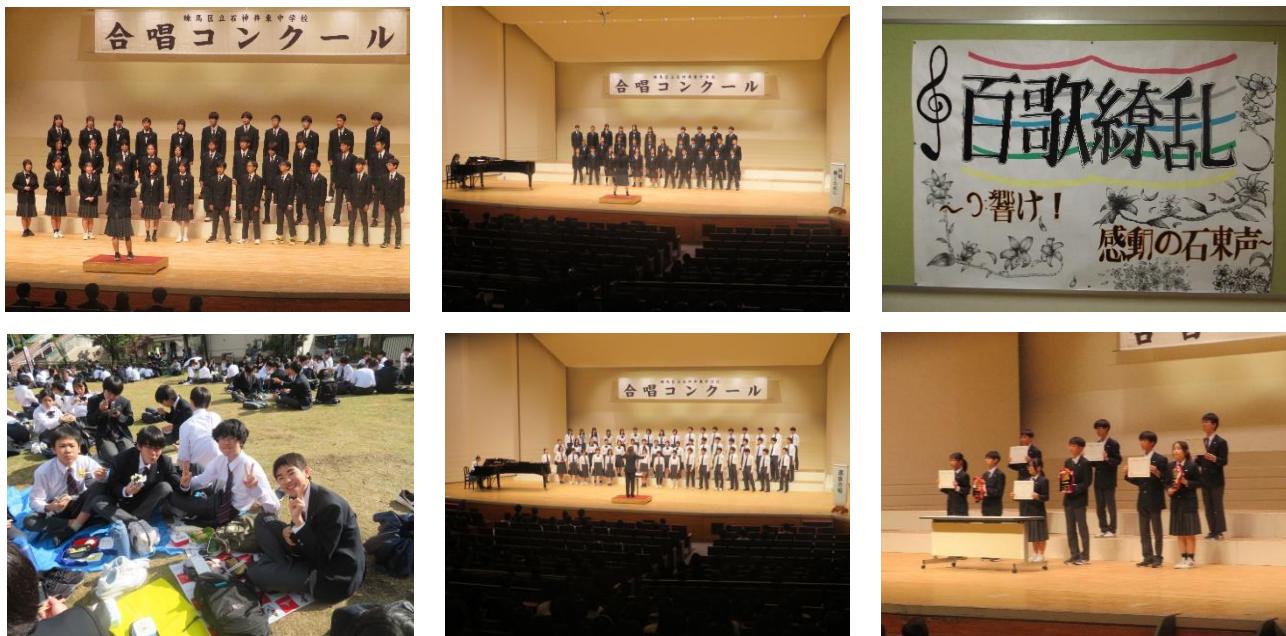
〈練馬東間税会〉 3年女子「キャッシュレス 時代と歩む 人と税」

主な行事の紹介

○合唱コンクール（10月27日(月)）

今年度も「練馬文化センター」を会場に、合唱コンクールを実施いたしました。全クラス本番に向け、合唱コンクール実行委員を中心に、毎日合唱練習を行っていました。今回は「百歌練乱～響け!感動の石東声～」というスローガンを掲げて、日々切磋琢磨していきました。今年度はそのスローガンの横断幕を美術部が丁寧に作成してくれたこともあり、例年よりひと際、学校一丸となって行事を盛り上げていきました。足を運んでくださったご来賓や保護者の皆様、どうもありがとうございました。

	1学年	2学年	3学年
金賞	5組「空駆ける天馬」	5組「いつまでも」	3組「虹」
銀賞	4組「輝くために」	3組「手紙」	5組「Gifts」



○道徳地区公開講座（11月8日(土)）

11月8日(土)「道徳授業地区公開講座」を実施しました。今年度は各学年とも、「中学道徳」の教科書にある漫画仕立ての資料から、活発に議論を交わし、考えを深めることができました。

【1年生】「いつもの教室の中で」（内容項目：公正・公平・社会正義）

1学年は、教科書の資料『いつもの教室の中で』を読んで、「いじめを起こさないようにするためにどうすればよいのだろうか」ということを考えました。

授業では、いじめは被害者、加害者、観衆、傍観者という関係で成り立っていると言われており、それぞれ互いに影響しあうという前提のもと、生徒たちが班に分かれてその4つの立場になりきって演じるロールプレイングを実施しました。これにより、各立場の気持ちや辛さを考え、その後、同じ立場を演じた生徒での話し合い活動を行い、同じ立場であっても人によって感覚や感じ方が違うことを実感しました。

まとめでは、話し合い活動で感じたことを踏まえながら、「いじめを起こさないようにするためにはどうすればいいのか」について再度考え、深く話し合いました。いじめにおける被害者、加害者、観衆、傍観者がいじめに対して肯定的な態度を示すといじめを助長し、否定的な態度を示せばいじめを小さくしたり、なくしたりできます。生徒たちからは、互いの気持ちを考えながら、また、いじめに対して「全員が否定的な態度を示すこと」が大切だという意見が出ました。皆が過ごしやすい学校になるよう、今後もこの学びを活かしていきましょう。



【2年生】「カメルーン生まれ日本育ち」(内容項目：公正・公平・社会正義)

この授業は、自身の経験から、偏見について問うている漫画を通して、差別や偏見のない社会をつくるために大切なことは何かを考えさせ、「誰に対しても公平に接し、差別や偏見のない社会を実現しようとする判断力」を育てることをねらいとしました。

資料の漫画からは、カメルーン人の親から生まれた主人公が日本育ちであるにもかかわらず、外見から「足が速そう」とか、「英語が上手そう」などと安易に決め付けられたことから、偏見が社会に広がり差別や迫害を生むことを危惧していることが読み取れます。

冒頭、担任から「思い込みや偏見で決め付けてしまったことはありますか?」という問いかけに対して、担任の経験談を聞きながら、生徒たちは自分の経験を振り返りました。そして「差別や偏見のない社会を作るために大切なことは何でしょうか。」という問い合わせに対して、グループで話し合ったり、クラス内で自由に意見交換を行ったり、改めて偏見にとらわれないことの難しさに向かい、どうすればその難しさを乗り越えられるかについて考えました。来年の長崎の修学旅行では国際理解を学年のテーマとしていることもあり、今回の話し合いからよりよい社会の実現に向けて皆の考えが深まり、さらなる課題意識がもてるこことを期待します。



【3年生】「アイツとオレ」(内容項目：相互理解、寛容)

対照的な二人の生徒の姿を描いた漫画を通して、他者とわかり合うために必要なことは何かを考えさせ、「他者と相互に理解し合い、高め合おうとする心情」を育てることをねらいとしました。

授業では、資料の漫画の中で「オレ」が「アイツ」から「だからこそわかるんだ」と言われた場面から、そう言われたらどんな気持ちになるか、ということについて話し合いました。授業の山場として「人とわかり合うために必要なのはどんな考え方か」についてグループで話し合う中で、生徒たちは相手の個性を認め、相手の考え方や立場を尊重できることの大切さに気付きました。具体的には、「自分の考えを伝えることを恐れない」や「相手の言葉を表面的に捉えるのではなく、立場や状況を踏まえて受け止められるようにする」などの意見が出ました。

卒業まであと数ヶ月となる3年生ですが、日頃から友達と考えを伝え合い、時には意見が対立することがあっても、自分と異なる立場や考え方を尊重し、寛容に受け止めることで、他者から学び自分を高めて、残りの学校生活をぜひ有意義に過ごしてもらいたいと願っています。



部活動の記録

●男子バスケットボール部 ★ベスト8
[新人大会]
対 豊溪中 ○ 104-33 対 中村中 ●42-79
対 武蔵中 ○ 76-48

●演劇部
[第76回練馬区連合演劇発表会]
「サニイ」「Ⅱ年A組とかぐや姫」
★都大会出場
(出場演目:「Ⅱ年A組とかぐや姫」)

今後の主な行事

11/21(金) 専門委員会	2(火) 避難訓練 進路会議	17(水) 職員会議
23(祝) 勤労感謝の日	3(水) 進路面談始 (3年)	18(木) 食育の日
スピーキングテスト	5(金) 校外学習 (1年)	19(金) 専門委員会
24(月) 振替休日	11(木) 進路面談終 (3年)	23(火) 学年末清掃
26(水) 職員会議	12(金) スキー教室保護者会 (2年)	25(木) 終業式
12/1(月) 生徒朝礼		26(金) 冬季休業日始